

日本保健物理学会討論会

「ICRPレポート“Lung cancer risk from radon and progeny”を考える」ご案内

主催：日本保健物理学会（企画委員会、国際対応委員会、ラドンの防護規準に関する専門研究会）
共催：日本放射線管理学会、日本放射線影響学会

現在、国際放射線防護委員会(ICRP)は、ICRPレポート“Lung cancer risk from radon and progeny”をウェブ上に公開し、9月末までの予定で、広く関係者からの意見を募集しています。このレポートには、WHOなどでとりまとめられたラドンの健康影響に関する知見などが反映されたものとなっており、その動向が国際的にも注目されています。日本保健物理学会では、国際対応委員会において、ドラフトに対する意見の集約を開始しましたが、これに加えて、ラドンに関する専門家以外の一般の会員が、この問題を通じて放射線のリスクや放射線規制のあり方などを考える機会を提供したいと考え、表記討論会を開催することといたしました。講師の方々には、ラドンの健康影響、リスク評価、ドシメトリーなどの基礎的な事項についてわかりやすく解説した内容のご講演を依頼しています。今後の管理や研究の実務にも大変参考となる討論会となることが期待されますので、多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています。

日本保健物理学会企画委員長 百瀬琢磨

記

日 時：9月25日（土） 13:30～17:00

場 所：東京大学工学部11号館講堂（本郷キャンパス）

参加費：会員、特別会員、賛助会員 2000円（日本保健物理学会、日本放射線管理学会、日本放射線影響学会）、非会員 3000円、学生（会員、非会員とも）1000円 但し、16:30以降入場無料

申し込み：事前の申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

問合せ先：日本保健物理学会企画委員会 担当 百瀬 (momose.takumaro@jaea.go.jp)、中田 (nakada.akira@jaea.go.jp) 電話029-282-1111内線61500、61550【放射線管理部内】

プログラム：

13:30～13:35 学会長挨拶

13:35～14:45 第1部 基調講演

座長 放医研 酒井一夫氏

1. “Lung cancer risk from radon and progeny”ドラフトの要点（30分）

大分看護科学大学 甲斐倫明氏

2. 学会における関連情報の収集と分析（40分）

1) WHOの動向について

放医研 米原英典氏

2) 国際対応委員会での検討状況及び意見集約の結果

国際対応委員会

15:00～16:30 第2部 パネルディスカッション

座長 名大 飯田孝夫氏

1. 論点の整理と提案（60分）

1) リスク評価の観点から

鹿児島大学 秋葉澄伯氏

2)ドシメトリーの観点から

原子力機構 石森有氏

3)防護規準と適用の観点から

東京大学 飯本武志氏

2. 総合討論 (30分)

16:30 閉会あいさつ

16:35~17:00 理事会報告「法人化への取り組み状況について」(無料)

なお、ICRPの意見募集については次のURLをご覧ください。

http://www.icrp.org/draft_lung.asp

また、レポートは次のURLをご覧ください。

http://www.icrp.org/docs/ICRP_Statement_on_Radon_AND_Lung_cancer_risk_from_radon_and_progeny%28for_consultation%29.pdf

以上